

<令和4年4月18日(月)13:00-15:30>

「令和の日本型学校教育」を推進する
地方教育行政の充実に向けた調査研究協力者会議

資料 1

首長から見た地方教育行政について



本庄市マスコット

はにぼん

HONJO CITY



埼玉県本庄市長 吉田信解



次 第

1. 本庄市の紹介
2. 「総合教育会議」設置後の効果
3. 子どもたちのより良き未来のために



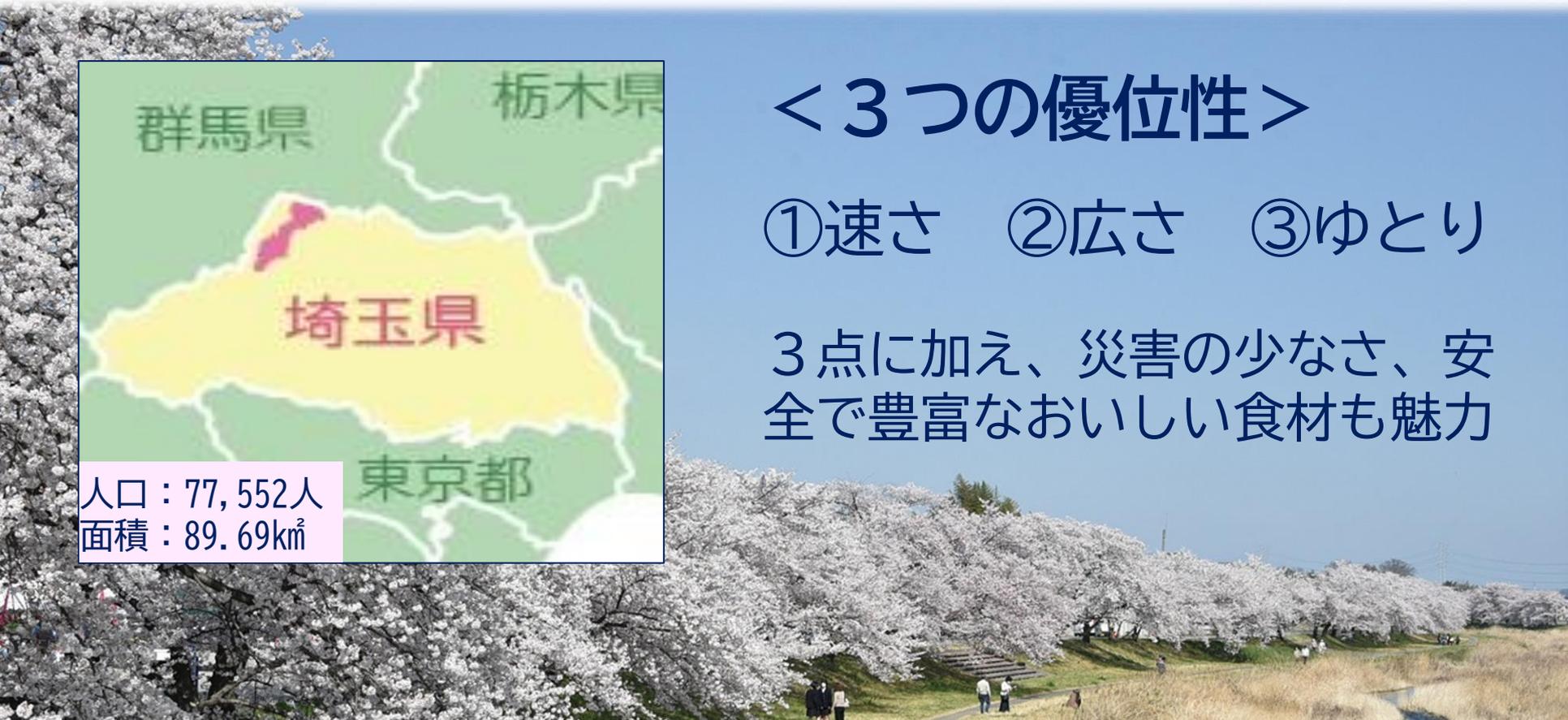
1. 本庄市の紹介



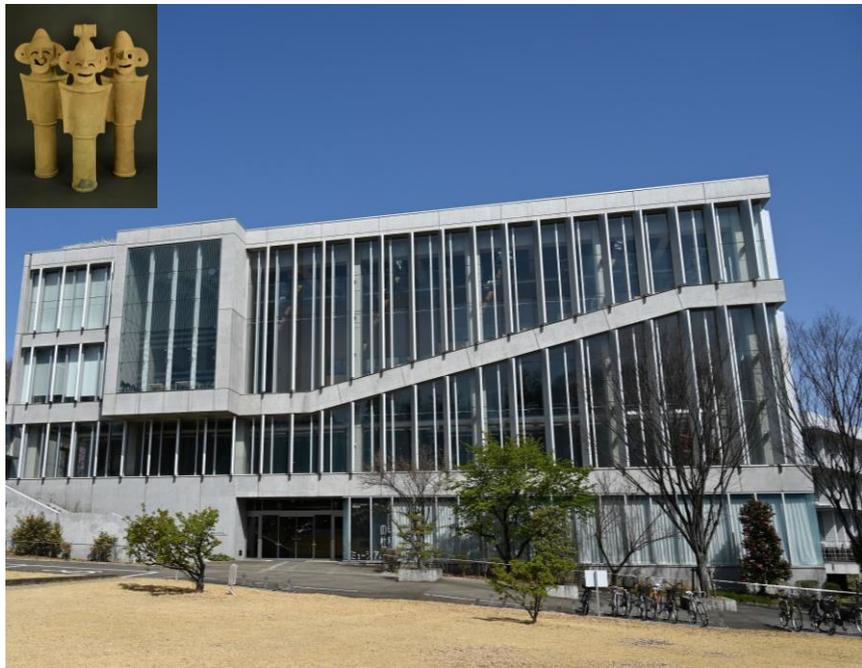
< 3つの優位性 >

①速さ ②広さ ③ゆとり

3点に加え、災害の少なさ、安全で豊富なおいしい食材も魅力



1. 本庄市の紹介（施設）



本庄早稲田の杜ミュージアム

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫





1. 本庄市の紹介（自然）



骨波田の藤（長泉寺）

マリーゴールドの丘公園



1. 本庄市の紹介（祭り）

本庄祭り（11月）



こだま夏祭り（7月）





1. 本庄市の紹介

<市内の小・中学校>

	学校数	児童数
小学校	12校	3,696人
中学校（公）	4校	1,884人
中学校（私）	2校	392人
計	18校	5,972人

※令和3年度学校基本調査に基づく数字です。



本庄市教育大綱（基本理念）

世のため、後のための教育

～未来を拓く人を育み、
歴史と文化の薫るまち～

本市は、江戸時代の盲目の国学者である塙保己一の生誕地です。
本市の教育は、塙保己一の遺したことば「世のため、後のため」の
理念のもと、自ら未来を切り拓くことのできる人材を育成します。



本庄市教育大綱（基本方針）

1 確かな学力と自立する力の育成

変化の激しい時代において、子どもたちが夢や志を持ち、主体的・意欲的に自ら人生を切り拓いていけるよう、確かな学力と自立する力を学校・家庭・地域がともに力を合わせ育成します。

2 豊かな心と健やかな体の育成

互いの生命と人権を尊重し、他者を思いやる心や感動する心を育むとともに、運動に親しみ体力の向上に取り組む、心身ともに健やかな子どもたちを育成します。



塙保己一



本庄市教育大綱（基本方針）

3 教育環境の整備

子どもたちが快適かつ安心して学習に取り組めるよう、学校支援体制の強化や学校施設の計画的整備、教育機器の充実などの教育環境の整備を推進します。

4 生涯学習の活発化

誰もが豊かで充実した人生を送れるよう、多様なニーズに対応した学びの場の提供と情報発信を行うとともに、学びの成果を発揮できる機会の創出を図ることで、生涯学習と芸術文化活動の活発化を推進します。



塙保己一記念館



本庄市教育大綱（基本方針）

5 文化財の保護と活用の推進

長い歴史と伝統を持つ本市の貴重な財産である文化財を適切に保護し、未来へと継承しつつ、これらを学び親しみ、また市内外にその魅力を広く発信していくとともに一層の有効活用を図ります。

6 生涯スポーツ・レクリエーションの促進

市民がいつまでも心身ともに健康で生きがいを持って暮らせるよう、「市民一人1スポーツ」を目標として、誰もがスポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくりを図ります。





2. 「総合教育会議」設置後の効果

事例①

(令和2年3月、本庄市総合教育会議)

「新型コロナウイルスへの対応について」

(内容)

新型コロナ感染拡大の初期、小中高校の一斉休校や卒業式の開催方法など、対応方針を議論。

国からの要請が突然だったため、緊急で開催。



2. 「総合教育会議」設置後の効果

事例① **その効果**

- 非常時に、教育委員会と首長部局の連携・すり合わせがスムーズに進められた。
- 学校現場やPTAなどに加え、市全体としての新たな判断材料を得る場として機能し、地域の実情を踏まえた結論を導き出せた。



2. 「総合教育会議」設置後の効果

事例②

(令和元年10月、本庄市総合教育会議)

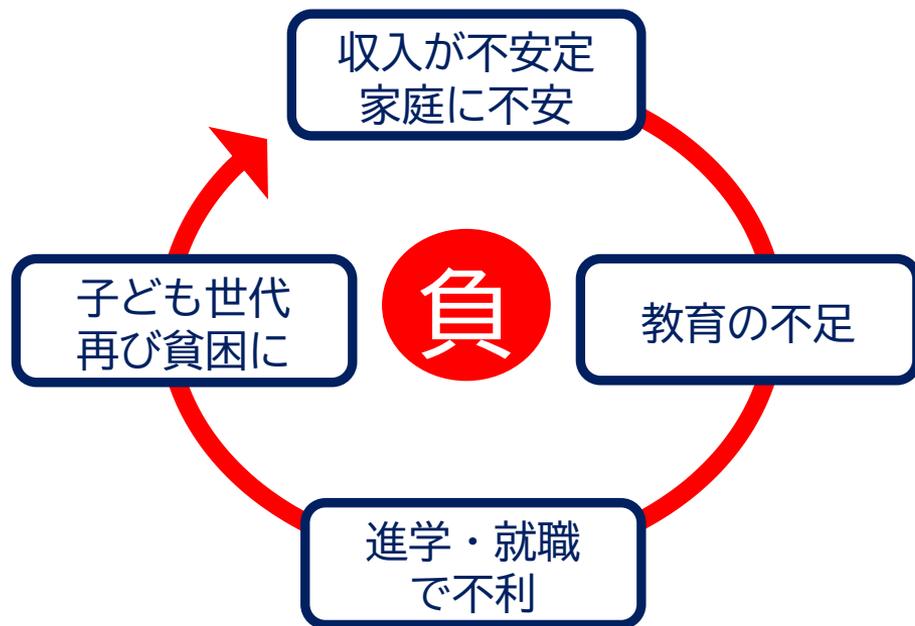
「貧困家庭・外国人に対する教育サポートについて」

(内容)

市の福祉部による貧困家庭への教育支援「アスポート事業」と、言語の壁がある外国人の教育サポートについて議論。議題は、教育委員からの提案。



教育支援 アスポート事業

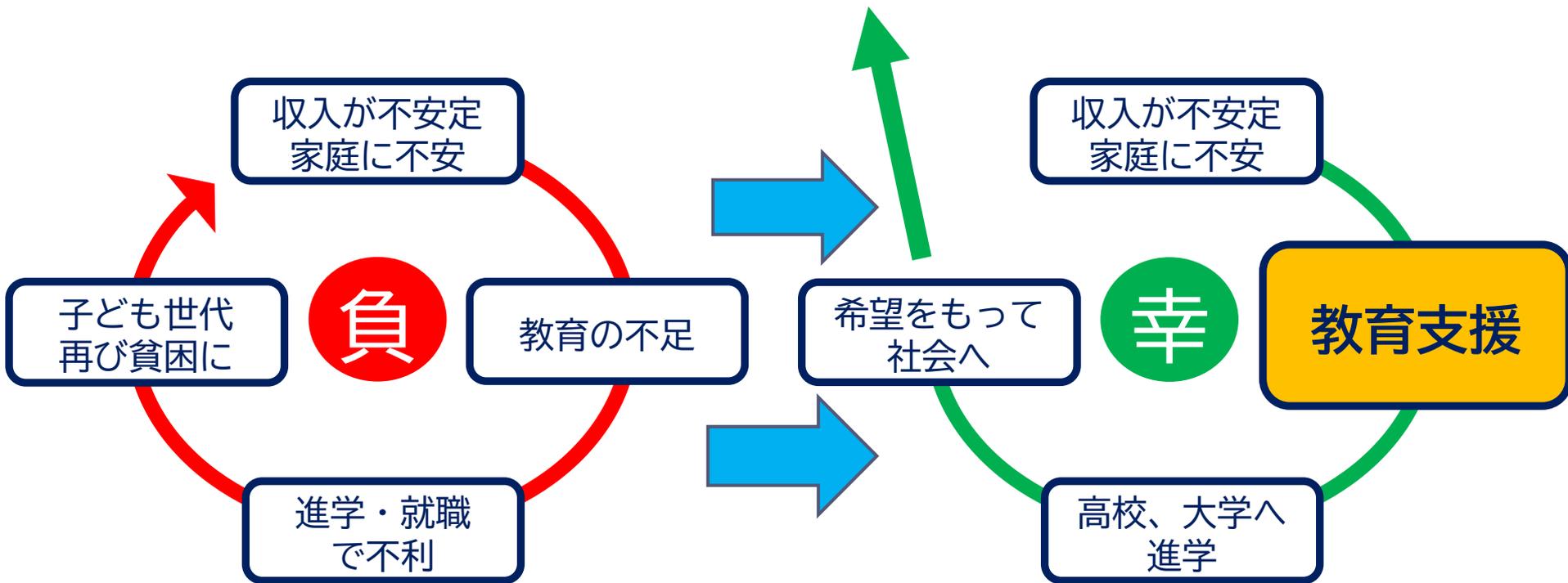


生活保護世帯で育った
子どもの4人に1人が、
大人になった時再び生
活保護を受けている…

<2012年度「児童生徒の問題行動
等生徒指導上の諸問題に関する調
査」より>

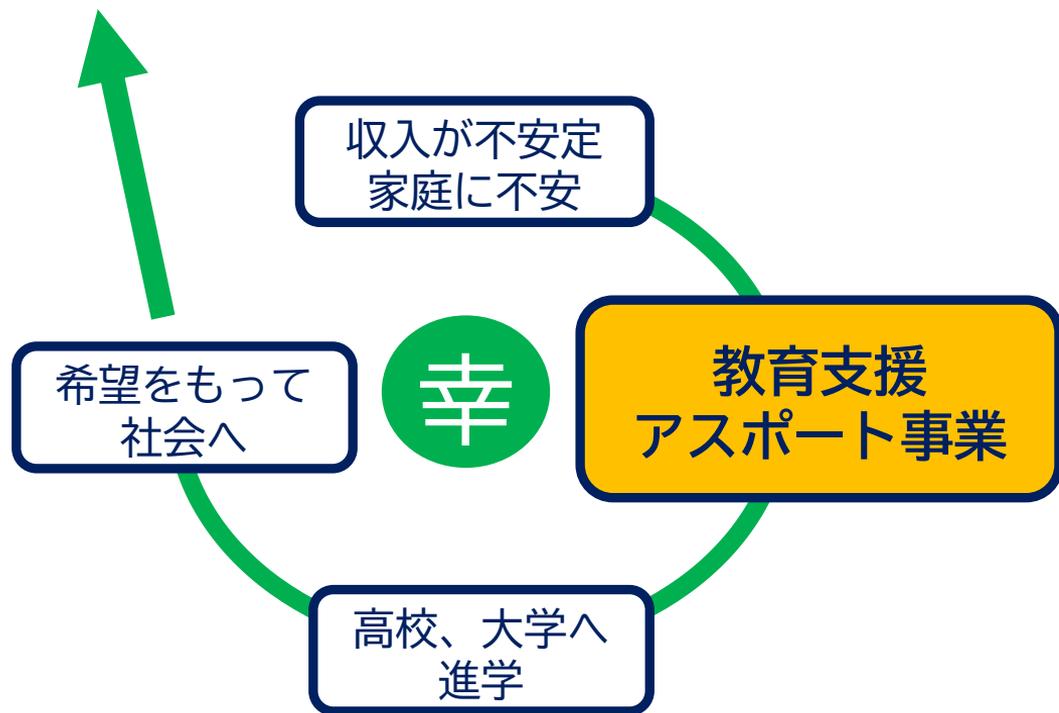
貧困の連鎖を断ち切るのは、教育支援！

HONJO CITY



貧困の連鎖を断ち切る 本庄のチャレンジ

HONJO CITY



「明日へのサポート」
と
「明日に向かって船出
をする港」
（明日＋ポート）を
組み合わせた造語。



2. 「総合教育会議」設置後の効果

事例② **その効果**

- 福祉や国際交流の担当部署が会議に参加、教育委員会と情報及び課題の共有<連携の強化>が図れた。
- 学校現場ではフォローしきれない子どもの貧困について、組織横断的に取組む契機となった。



2. 「総合教育会議」設置後の効果

事例② 会議での教育長のコメント

「学校では、家庭環境や背景といった観点から学力格差を問題視していくということにはなかった。学校の中では、貧困の状況は分かりにくく、家庭訪問も行いにくい。貧困と学力の問題を取り上げていただき感謝している。」

(令和元年度第2回本庄市総合教育会議 会議録より)



3. 子どもたちのより良き未来のために

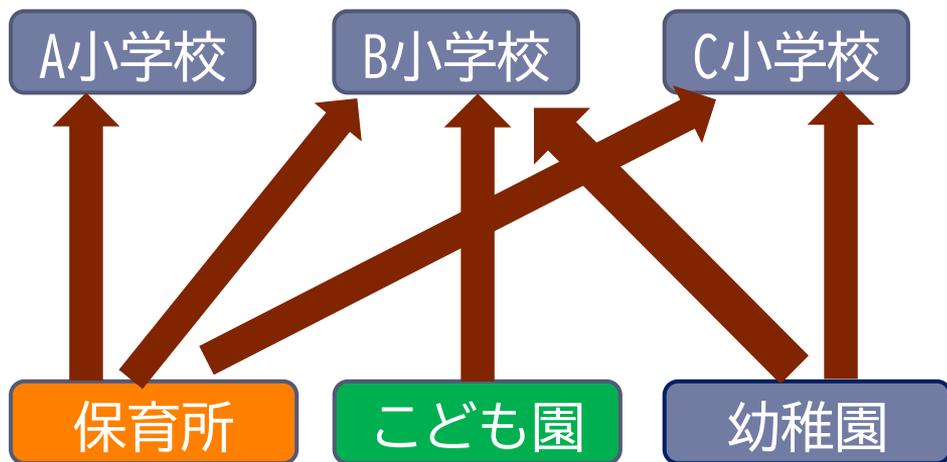
課題① 幼児教育を含めた議論の必要性

- 本市の場合、公立の幼稚園はなく、「地方教育行政=小中学校」に限定されている。
- 幼稚園・保育園から小学校へ円滑に接続できる体制の必要性を認識している。



3. 子どもたちのより良き未来のために

課題① 現場でおきていること



- 児童虐待
- 子どもの貧困
- 発達支援 等の課題

- その子にとっての最適な環境とは？
- 公立学校の良さを更に高めたい 等の思い



3. 子どもたちのより良き未来のために

課題② 地域の実情に応じた教育環境の整備

- 学校施設等の今後について

例えば…

同じ市内でも、人口が増加している地域、減少している地域では実情は大きく異なる。



3. 子どもたちのより良き未来のために

課題② 地域の実情（本庄市の場合）



➤ 3駅を拠点とする拠点市街地

人口増または人口維持。学校では各学年、複数クラス。

➤ 上記以外の地域

人口減少が進み、小規模校、地区の活性化が課題。
市内には、すでに休校となった学校あり。





3. 子どもたちのより良き未来のために

課題② 人口減少が進むある地区からの声

「近年、急激な児童の減少が起こっていますが、このような地区の活性化、地域づくりについて、どのようなお考えがあるのか、今後の方針を市長から聞かせて欲しい。」

(令和3年度 本庄市PTA連合会主催「教育懇談会」意見より)





3. 子どもたちのより良き未来のために

課題② 課題解決に向けたアプローチ

本庄市における今後の展開



- 各地区（学校区）の意向や特性の十分な調査
- 地区の実情に即した学校施設等の在り方の研究

上記を踏まえた

地域づくり、コミュニティ再構築

3. 子どもたちのより良き未来のために

